

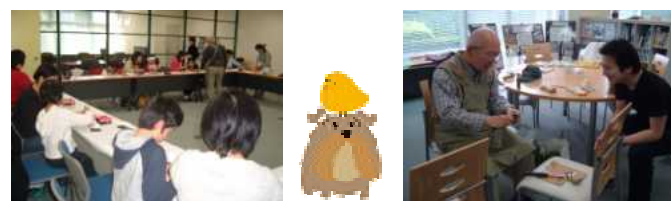
品川区環境情報センター
イベントカレンダー

- 8月2日(水) 「どんぐりのミニカー」と木の果のアクセサリ」を作ろう
講師: 亀田勇二(環境カウンセラー)
- 8月4日(金) 今日は1日環境DAY!
講師: 酒井康一
(環境カウンセラー 元(株)ソニー社会環境部長)
- 8月9日(水) 廃油を使ってろうそくをつくろう
講師: 目野正彦(株)日本ハム)
- 8月11日(金) キッチンからはじめるエコロジー。
地球に優しい旬の料理を作ろう!
講師: 東京ガス エコクッキングインストラクター
- 8月19日(土) 甦る流木の仲間たち
講師: 樋口金太郎(流木アーティスト)
- 8月21日(月) 小菊のミニ盆栽
講師: 伊藤金美氏(園芸研究家)
- 8月23日(水) 牛乳パックを使って紙すきを試し
「オリジナルはがき」を作ろう
講師: 資源循環推進課議員
- 8月26日(土) 気象予報士と一緒に「地球温暖化」を考えよう!
講師: 岩谷 忠幸氏(気象予報士)
- 8月30日(水) 不用品からアートな作品
「コラージュミニ絵本」を作ろう
講師: 竹中信子(アートディレクター)
- 9月16日(土) ヒートアイランド対策を「緑化」から考えよう
講師: 石川健治(環境カウンセラー)
- 10月14日(土) ネイチャークラフト第一弾! 「どんぐりミニ図鑑」をつくろう
講師: 亀田勇二(環境カウンセラー)
- 10月21日(土) ネイチャークラフト第二弾! 「木の果の動物」をつくろう
講師: 亀田勇二(環境カウンセラー)
- 10月25日(水) テーブルグリーン
～食器や水盤等に草花を植えて室内で楽しもう～
講師: 伊藤金美(園芸研究家)
- 10月28日(土) 端切れを使ったタペストリー
講師: 高井徳子

詳しい実施内容については、環境情報活動センターHP (<http://www.shinagawa-eco.jp/>) よりご確認ください。お申込みもこちらから可能です。過去の講座のレポートなども掲載しております!

品川区環境情報活動センターでは、上記のようにたくさんの環境講座をご用意しておりますが、講師の補助・お手伝いをしてくださるボランティアの方を大募集しております。まずはサポーターとしてご登録いただき、スケジュールの空いている日・ご希望の講座がある日にお手伝いください。お問合せは03-5742-6533までお気軽に。

エコ・サポーター
募集中!!



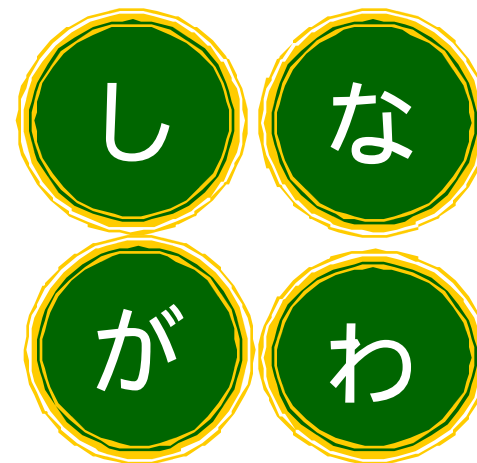
「今年早々と庭の紫陽花が咲きました!」という写真や「古着をリサイクルしてみたい」「こんなエコロジー生活しています」など、身近な環境情報を、携帯やEメール等で環境情報活動センターへお寄せください。記者の方から提供していただいた記事や写真は当環境情報活動センターのホームページや情報紙等に掲載していきます。

環境に関することなら何でもオッケー! 年齢制限・応募資格なども一切ございません。

環境記者懇談会などたくさんのお客様もご用意しております! みなさまからの記事、お待ちしております!



環境情報活動センター



見上げた空がクリーンであるよう
今できる 一粒の種をまこう

ECOだより

～品川区環境情報活動センターだより～

しながわ生きもの
データブック登録制度

2006年8月1日スタート!

区内に生息する生物を、積極的に守り育てている方、「しながわ生き物データブック」に登録してみませんか? 取り組みを広く知ってもらい、地域で大切に守っていきましょう。登録された生きもののリストと保護・活動の状況は、ホームページなどで公開していきます。是非お申込みください。



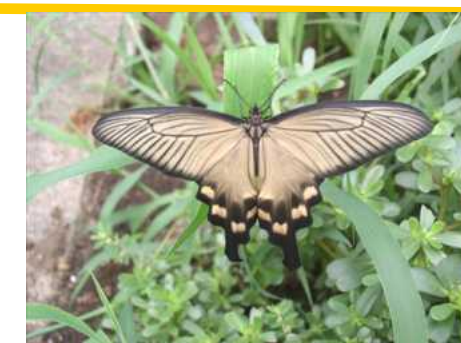
次ページで既に登録された生きものをご紹介します!!

「しながわ生きものデータブック登録制度」は、品川区内に生息する生物を保護・育成する区民の活動を支援し、広く区民の方に知っていただくことで、自然環境の保全や回復を目指すものです。「このような生きものはダメかな?」と考えてしまう前に、まずはお問合せください。

満を持して登録第一号となったのは、この美しいジャコウアゲハです!

- 登録申込み方法
1. 代表者のお名前
 2. 代表者のご住所、ご連絡先
 3. 生きものの名称または分類
 4. 生育場所
 5. 現在の状況、取り組み内容
- どのような形式でも結構です。ご記入の上E-mailにてお送りください。登録が決まり次第、代表の方に連絡をいたします。

地元住民・児童生徒を巻き込んで、チョウのレストラン(食草園)を作り、豊かな自然環境を取り戻そうと活動している団体を次ページでご紹介します。植物・昆虫・魚・・・生きものならなんでも大丈夫! 是非、あなたの保護する生き物をご紹介します。



登録NO.1 ジャコウアゲハ(蝶)

発行 品川区
環境清掃事業部
編集人 特定非営利活動法人
エコタウンしながわ
事務局
発行日 平成18年8月7日
2006年夏号
住所 〒140-8715
品川区広町2-1-36
(防災センター3F)
電話/ FAX
03(5742)6533
Email: center@
shinagawa-eco.jp
<http://www.shinagawa-eco.jp/>

生きものデータブックに関するお問合せ・お申込みはこちらへ

品川区環境清掃事業部
環境課 調査担当
TEL 5742-6753
E-mail
kankyo@city.shinagawa.tokyo.jp

登録された生きものと、保護活動をしている団体をご紹介します！！

申請者
勝島運河倶楽部
成育場所
しながわ花海道
取り組み内容

「勝島運河倶楽部」では、「チョウの食草園創り」を昨年からの調査を踏まえ、2006年6月から開始しました。

現在、しながわ花海道、鮫浜小学校、浜川中学校、水神児童センター、大井第一小学校の協力を得て食草園の拡大を行っています。地元住民、児童生徒が一体となって活動しています。

とりあえず勝島運河に生息する、ジャコウアゲハの食草のウマノズクサ。キアゲハ、ナミアゲハ、クロアゲハの食草を植えました。その後隔週に「食草園」の草を取り、発育状況を観察しています。現在順調に生育しています。また食草園を作ったあと、チョウと食草のチラシ類を作成し掲示してもらい子どもたちの関心を高めています。



これらは、少なくなりつつある自然環境を見つめ直すことをメインテーマに始めました。季節を感じ、子どもたちに本物の「命」を見せたいと思っています。

チョウやトンボが空に飛びたつ瞬間を見た子供たちはみな、「心」に感動を覚えます。『自然体験の豊富な子どもほど、正義感や道德感を持ちえている』という報告(文部科学省)もあります。

秋からはチョウの成虫のための花壇作りを進行します。これにより「チョウの親子のレストラン」ができます。来夏から少しずつこれらの効果が出てくるものと思います。同時に、来年度に「プールのヤゴ救出作戦」を行うための調査を進行中。

将来の目標は「品川区ピオトーブネットワークプロジェクト」です。興味のある方は、「勝島運河倶楽部」のホームページ<http://unga.dip.jp/unga/>「お問い合わせ」よりメールを入れてください。支援・カンパ大歓迎です。

写真全て
Copyright (c) 2002 ~ 2006 by MUSHI-MEGANE LAB & minami-takahiko All Rights Reserved.

省エネ・環境経営診断をご利用ください！

オフィスや工場、店舗における省エネ環境経営のために、専門診断員が無料で「省エネ診断」を行い、改善案を提案します。

省エネは、効率の良い機械・条件・運転時間を満たすことが大切です。効果的な省エネ対策が行え、事業活動の中で消費比率の高い、空調・照明ジャンルをメインに、専門診断員がハード・ソフト両面から投資効果を含めた診断を行います。

お気軽にご相談ください



事業者の方へ



登録NO.2 キアゲハ(蝶)



登録NO.3 ナミアゲハ(蝶)



登録NO.4 クロアゲハ(蝶)



登録NO.5 ウマノズクサ(植物)

ヤゴ救出大作戦!! 戸越小学校のヤゴ レスキュー

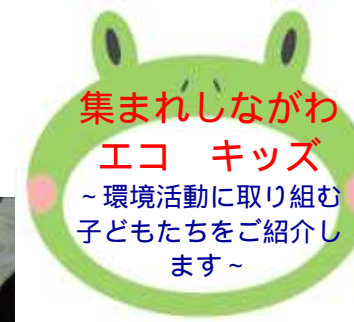
6月12日(月)に戸越小学校で1・2年生の授業の一環として「ヤゴレスキュー」が行われました。

半ズボンの子、水着の子、半分はだかの子、先生の説明を聞いた後に「待ってました!」とばかりプールの中へ。毎年プール掃除の前に恒例となった戸越小学校の「ヤゴレスキュー」は2年生がプールに入ってヤゴを救出し、1年生はプールには入らずプールサイドで主事さんがプールからすくった落ち葉の中からヤゴを救出するかたち。

去年はプールサイドでヤゴレスキューをした2年生は、「1年生にヤゴをとってあげるんだ!」と張り切っていました。しかし、プールの水は緑色でヤゴは見えず、足元はツルツル、ヌルヌル.....そんな状況にもすぐになれ、ひざまで水につかりながらも、ヤゴを探して大騒ぎ!プールの底をすくった網の中には、落ち葉がたくさん。その落ち葉をかき分けてみるとヤゴがいました。2年生がすくったヤゴは、ヤゴを探せなかった1年生へプレゼントされます。

もともと戸越公園の隣で環境の良い場所にある戸越小学校。「ヤゴレスキュー」は、自然の流れで取り組まれてきた授業の一つであるとのこと。

去年の2年生は教室で飼育していたヤゴを羽化させ、トンボになって旅立つ瞬間を「拍手」で見送ったのだそうです。自分たちが命を救ったという誇り、羽化の瞬間を見るという神秘的で貴重な体験。見送る時に自然にわいた拍手が、子ども達の心に何かを残した証拠です。



「俳句」を通して季節を感じる心を 養おう! ~大原小学校~

校長室といえば、奥まったところにあり、高級そうな応接セットがあって、「来賓」と呼ばれる方々が利用する子供には縁遠い場所...そんなイメージは完全に払拭!ピンクの椅子とあたたかな木のテーブル、そしてその部屋の前には手作りのポストが松ぼっくりや木の実たちと共に置かれています。

ここ大原小学校では、校長先生が校長室の掲示板に今月の季語を張り出し、生徒のみなさんがそれをもとに俳句を読む、という取り組みを行なっています。完成した句はポストに投函。翌月、校長先生がそれらを全て集めて金・銀・銅の賞を付した上で、校内に貼りだします。応募総数は月30~50句、多いときには100にもものぼるとのこと。先生にとっても大変な作業です。

「先生賞決まった?」と校長室に顔を出す子もいるとのこと。みんなどきどきわくわくしながら、発表の瞬間を待っているのですね。

貼り出された季語を頭に置き、学校までの行き帰りや食卓・公園・友達のおしゃべりの中など、普段のありふれた生活の中に、「一句生み出そ



夏の季語には、ラムネ・金魚売・蛸・蟹・源五郎・アスパラガス・栗の花・玉葱など多々あります。季語を知り、一つ俳句をつくってみよう、なんて思いながら辺りを見回せば、きっといつも異なる世界が広がってくるはず。ちょっとだけ、心が豊かになった気がします。「環境」とは、まずは今ある愛しむべきものを正しく認識することからはじまるのかもしれない。

当センターホームページのトップ画面右、「しながわこどもの俳句」バナーに、その成果を納めてあります。子供たちの瑞々しい感性を、どうぞ味わってみてください。実は当ホームページでトップのアクセスを誇る、人気コーナーです。